

愛知大学 3つのポリシー (2021~2023年度)

■国際コミュニケーション学部 国際教養学科

教育研究上の目的
学則第1条 (目的) 本大学は、教育基本法及び学校教育法並びに本学の設立趣意書に基づき、高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材を養成することを目的とする。
学則第2条の2 (学部及び学科) 異文化理解を通して国際コミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら、国際的な場で活躍できる人材を養成する。そのために英語をはじめとする諸外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象に、文化や社会に関する基礎的な知識の習得を目指す。また国際・国内フィールドワークを実施して具体的な交流に努める。
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)
国際コミュニケーション学部では、様々な国や地域の人々、また、多様な社会・文化背景をもつ人々とコミュニケーションをとり共生できる能力を身につけ、地域内でも国外でもお互いを尊重し理解を深め合える柔軟な人材の育成に努めています。 そのために、国際教養学科の学生には、言語とともに文化や歴史など広い視野に基づく教養と専門知識を身に付け、真の異文化理解に繋げることができる国際感覚をみがくことを求めます。 履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数およびコース別の履修要件等をすべて満たし、かつ厳格な成績評価と「卒業研究」の審査を経て総計124単位以上を修得し、以下の能力や知識を有すると判断された学生に対し、学位を授与します。 (1) 国籍・文化・価値観・宗教など、異なるバックグラウンドを持った人々を理解し、これらの人々と双方向的な交流をすることができる。 (2) 英語および諸外国語の習得を通じて、バランスのある国際感覚を養い、グローバルな世界で柔軟に対応できる姿勢を身につけている。 (3) 異文化理解に基づいた健全なクリティカルシンキングを身につけ、自文化を客観視し相対化することのできる複眼的な思考ができる。 (4) 幅広い学際的な教養と専門分野の体系的な知識を身につけると同時に、自ら課題を発見・解決する能力を習得し、それらの成果を卒業研究に結実させる。
教育課程の編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー)
国際コミュニケーション学部国際教養学科では、異文化理解を通して国際的なコミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら国際的な場で活躍できる人材の養成を目的としています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 共通教育科目には、幅広く深い教養と総合的な判断力、そして豊かな人間性と倫理を涵養するよう科目を置いています。また、多文化状況を生き抜く基本的ツールとしての外国語科目を配置し、学生は第1外国語(英語指定)および第2外国語を履修します。 (2) 専門教育科目には、文化をめぐる個別の現象について国際比較を行うための方法論と論理を学ぶための「基幹科目」、専門について理解を深める「展開科目」、より深く専門に関連するテーマの研究を展開するための「演習科目」を配置しています。英語およびそれ以外の外国語の運用能力を身につけ、関心を有する地域の生活レベルから思想・芸術に及ぶ文化、さらには政治・経済状況に至る総合的で深い世界理解へと導くよう教授し、卒業後それらを応用的に展開していくための能力を付与し、国際人として自己を形成していく基礎を育成します。
入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)
国際コミュニケーション学部国際教養学科では、異文化理解を通して国際コミュニケーション能力を習得し、自文化についての知見をもちながら、国際的な場で活躍できる人材の育成を目的としています。そのため、生きたコミュニケーション能力を高めるための英語を身につける密度の濃い学習プログラムをはじめ、より洗練された日本語能力を磨きながら、多言語環境にも慣れていくための学習条件を整備しています。さらに、アメリカ、ヨーロッパ、アジア(日本を含む)をめぐる歴史、政治、経済、社会、文化、国際関係について国際人としてのコモンセンスを培い、国際フィールドワークを実施して、人・モノ・コトに関する具体的な交流経験を深めます。諸外国からの留学生も広く受け入れ、多文化環境が自然に生まれるよう様々な工夫を凝らしています。 このような観点から一般選抜および学校推薦型選抜において、国際教養学科では以下のような学生を求めるための入学試験を実施します。 【知識・技能】 (1) 国際教養学科での教育を受けるのに必要とされる高等学校の教育課程を習得している人。 (2) アメリカ・ヨーロッパ・アジア(日本を含む)をめぐる歴史、政治、経済、社会、文化、国際関係について関心を持ち、必要な知識や技能を積極的に吸収しようとする人。 【思考・判断・表現】 (1) 現在の国際社会の様々な問題を多面的かつ論理的に考え、自分の意見をわかりやすく説明しようとする人。 【主体性・多様性・協働性】

愛知大学 3つのポリシー（2021～2023年度）

- (1) 多様な文化背景をもつ人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につける意欲をもった人。
- (2) 異文化を理解して国際社会や世界の中の地域社会において積極的に貢献したいと考えている人。